

令和5年10月以降の主な施策の方向性①

事 項		施策の方向性	
		9月末まで（5月8日～9月30日）	10月以降（10月1日～3月31日）
相談体制	相談体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京都新型コロナ相談センターを開設（最大750回線） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外来・救急医療のひっ迫を防ぐため、継続
検査・診療体制	診療所等の施設・設備整備の支援(外来) (検体検査機器設備整備補助、施設・設備整備費補助等)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コロナとの共生基盤を構築するため、継続 (より多くの医療機関で検査診療する体制づくりのため、検査機器整備の支援を診療・検査医療機関以外にも拡充、パーティションなど設備整備の箇所数を拡大、医療機関名公表の仕組みを継続、10月から3月までの移行計画を新たに策定) 	
	感染防止対策の周知	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 感染防止対策の周知等を行いつつ、より多くの医療機関による対応ができるよう協力を呼びかけ（医療機関における感染防止対策の研修実施を支援、応招義務の整理等について周知） 	
	休日の診療体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 土日祝日や大型連休などの診療体制を確保（感染拡大時の緊急対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 継続（感染拡大時の緊急対応）
	施設職員に対する集中的検査	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者施設、障害者施設、医療機関、特別支援学校等を対象 (入所系施設：PCR週1回＋抗原定性週1～2回、通所・訪問系施設、医療機関等：抗原定性週2～3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者等のハイリスク層を守るため継続
	検査キット備蓄	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 約45万キットを確保 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 感染拡大に備え、緊急配布できる体制を継続（最大約40万キット）

令和5年10月以降の主な施策の方向性②

事項		施策の方向性	
		9月末まで（5月8日～9月30日）	10月以降（10月1日～3月31日）
医療提供体制	公費負担(入院)	<ul style="list-style-type: none"> 入院医療費を公費負担（高額療養費の自己負担限度額から2万円減額） 	<ul style="list-style-type: none"> 国の方針(減額幅を見直した上で継続)に合わせて対応(全国一律の方針に基づき実施していく事業)
	病床確保(病床確保料)	<ul style="list-style-type: none"> 病床確保料を補助 	<ul style="list-style-type: none"> 国の方針(対象・期間を重点化した上で補助を継続)を踏まえ、感染状況に応じて柔軟に対応(全国一律の方針に基づき実施していく事業)
	体制整備・受入促進(患者受入謝金、転院促進等)	<ul style="list-style-type: none"> より多くの医療機関で患者を受け入れる体制づくりのため、内容を見直した上で継続(病院における介護人材の確保や院内の感染防止対策経費を支援(9月まで)、ゾーニングなど設備整備の支援を確保病床をもつ病院以外にも拡大、9月末まで策定済みの移行計画を10月以降も延長、10月以降は感染拡大時における重症・中等症Ⅱを中心とした患者に重点化して病床確保を実施) 	
		<ul style="list-style-type: none"> 患者受入謝金等(転院促進、要介護高齢者・障害者の受入促進)(感染拡大時の緊急対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 継続(感染拡大時の緊急対応)
	入院調整	<ul style="list-style-type: none"> 保健所による入院調整、入院調整本部による広域的な調整を実施(9月末までの移行計画を策定。中等症Ⅱ以上患者及び透析、妊婦、小児、精神、重い基礎疾患等で入院調整が困難な方を対象) 	<ul style="list-style-type: none"> 病病・病診連携の進展を踏まえ、終了 ※特別な配慮が必要な患者(透析など)は既存のネットワークを活用
	高齢者等医療支援型施設	<ul style="list-style-type: none"> 8施設(692床)を運営 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等のハイリスク層を守るため、継続 ※感染状況等に応じて柔軟に運用
	酸素・医療提供ST	<ul style="list-style-type: none"> 立川(85床)を救急のひっ迫状況等に応じて再開できる体制を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等医療支援型施設に機能を集約し、終了

令和5年10月以降の主な施策の方向性③

事 項		施策の方向性	
		9月末まで（5月8日～9月30日）	10月以降（10月1日～3月31日）
医療提供体制	宿泊療養施設	<ul style="list-style-type: none"> 高年齢者・妊婦支援型を確保（約300室） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用実態や他の施策で代替可能な機能があることを踏まえ、終了
	感染防護具の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> 感染症に強い都市（レガシー）構築のため、継続 	
	病院の施設・設備整備の支援(入院) (施設・設備整備費補助等)	<ul style="list-style-type: none"> コロナとの共生基盤を構築するため、継続 (より多くの医療機関で患者を受け入れる体制づくりのため、入院受入医療機関以外にも対象拡充) 	
	後遺症対策	<ul style="list-style-type: none"> 継続（後遺症対応医療機関マップ、医療従事者等の後遺症への理解促進に向けた取組を実施） 	
自宅療養体制	臨時オンライン発熱等診療センター	<ul style="list-style-type: none"> 救急・外来など医療の負荷を軽減するため、休日・平日夜間に稼働(感染拡大時の緊急対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 再開できる体制を維持(感染拡大時の緊急対応)
	往診体制	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設への往診チーム派遣を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク層を守るため、継続
	施設専用窓口 即応支援チーム 感染対策支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク施設対策（感染症に強い都市（レガシー）構築のため）として、継続 	
	患者移送体制	<ul style="list-style-type: none"> 民間救急や陰圧車を活用した透析患者等の移送体制を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 利用実績を踏まえ、他の疾患との公平性の観点から、終了

令和5年10月以降の主な施策の方向性④

事 項		施策の方向性	
		9月末まで（5月8日～9月30日）	10月以降（10月1日～3月31日）
ワクチン 接種・ 治療薬	ワクチン 公費負担	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全額公費負担（国10/10）（特例臨時接種の延長に伴い継続） （全国一律の方針に基づき実施していく事業） 	
	ワクチン大規模 接種会場	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模接種会場（都庁北展望室、三楽病院）を運営、高齢者施設等へワクチンバスを派遣 （国費の支援における上限単価の新設を踏まえ、体制を精査して継続） （全国一律の方針に基づき実施していく事業） 	
	治療薬の 公費負担	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全額公費負担 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国の方針（一定の自己負担を求めた上で継続）に合わせて対応 （全国一律の方針に基づき実施していく事業）
モニタリング、サーベイラ ンス	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 専門家によるモニタリング分析 ▶ 新たな変異株を監視（ゲノム解析） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 継続 	
保健所支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 都保健所での人材派遣の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 継続 	
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 夜間入院調整窓口を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 病病・病診連携の進展を踏まえ、終了 	
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保健所のデジタル化を推進 （音声マイニングの活用、進捗管理のデータ化） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 感染症に強い都市（レガシー）構築のため、継続 	
区市町村支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 区市町村が行う感染拡大防止対策等を支援（都の方針（ハイリスク者を守る、感染症に強い都市の構築）に沿ってメニューを衣替えして継続。通所・訪問者への集中的検査、相談体制、5類移行に係る住民や診療所等の理解促進など） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 継続 	